

『AOMORI 未来創造ラボ』
プロジェクトエントリーシート(企業・団体用)

企業・団体・自治体名	株式会社 JR 東日本青森商業開発	業種	不動産賃貸業
提案プロジェクト			
タイトル	(30 字以内でご記入下さい) PROJECT ABC ～駅ビルについて学び、イベントを実施してみよう！～		
プロジェクトの概要	(400 字程度でご記入下さい) 当社は駅ビル「ラビナ」や今春開業した「&LOVINA」をはじめ、県内で5施設を運営している企業です。『青森の地域に根差し、青森を元気にする』を経営理念に掲げ、商業施設の運営や醸造事業、小売事業などさまざまなことに取り組んでいます。本プロジェクトでは、「ラビナ」「&LOVINA」を運営するグループで、まずは駅ビル運営について学んでいただきます。また施設のイベントに携わっていただきながら、皆さまのアイデアをもとに実際に 12 月にイベントを開催していただくべく、一緒に準備を進めてまいります。ぜひ一緒に、青森を盛り上げましょう！		
想定参画学生数	2 名		
学生が行うこと (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・10、11 月 駅ビルの概要把握 開催予定のイベント運営の内容把握、運営補助 <li style="padding-left: 20px;">12 月のイベント実施に向けた企画立案 ・12 月 イベントの実施・振り返り 		
目標・成果	(本プロジェクトで目指すべき目標を簡潔にご記入下さい) 例：新商品の開発、〇〇イベントの開催 など 駅ビルにおけるイベント（販売促進、ワークショップなど）の実施、振り返り		
該当する カテゴリー (すべてに○) <small>*注1</small>	【カテゴリー1】 プロモーション ○	【カテゴリー2】 アイデア創発 ○	【その他】
実施期間	(令和6年10月～令和7年1月末までの期間で設定してください) 令和6年10月～令和6年12月末(予定)		
受入学生の希望 (留学生の受入)	(どのような学生に向いているなどご記入ください) <ul style="list-style-type: none"> ・従来の企画にとらわれず、柔軟に発想していただける方 ・集客性、利益性、地域貢献性などさまざまな視点から考えていける方 		
備考			

※学生はこのエントリーシートを見て参加したいプロジェクトを探します。学生向けに目的・活動内容などを分かりやすくご記入ください。

応募〆切：令和6年8月30日(金)17:00



応募先：青森商工会議所地域振興部産業創造課 高山・杉山

Email: takayama@acci.or.jp

『AOMORI 未来創造ラボ』
プロジェクトエントリーシート(企業・団体用)

企業・団体・自治体名	(公社) 青森県観光国際交流機構	業種	観光・物産・国際交流
提案プロジェクト			
タイトル	(30字以内でご記入下さい) 青森県観光物産館「アスパム」内のフロア・コーナーの利用促進		
プロジェクトの概要	(400字程度でご記入下さい) 青森県観光のランドマークとして1986年から38年間にわたり営業してきた青森県観光物産館「アスパム」の1階(当機構の直営店「地場セレクト」等)、有料観覧となる2階(360° 3D映像シアター)及び13階(展望台)の各フロア・コーナー等のうち、具体的に選定したフロア・コーナーの利用促進策を検討し実施する。これにより、国内外から訪れる多くのお客様が、より一層、各フロア・コーナーを利用し、「アスパム」の魅力を堪能して他のお客様に推奨するようになることを目指すもの。 ◇「アスパム」の概況 ・年間総利用者数：約128万人(2023年度) ・立地：JR青森駅、青森港国際クルーズターミナルからそれぞれ徒歩約10分 ・実施期間中のイベント等：クルーズ船寄港(10/12、10/15)、クリスマスマーケット in アスパム(12/13~25 予定 2023年来場者数61,295人)		
想定参画学生数	3名~4名程度		
学生が行うこと(活動内容)	1 「アスパム」各フロア・コーナーの課題分析と利用促進に取り組む対象の選定 2 取り組み対象とするフロア・コーナーの利用促進策の検討 3 利用促進策の実施と効果検証		
目標・成果	(本プロジェクトで目指すべき目標を簡潔にご記入下さい) 目標：具体的に選定したフロア・コーナーの利用者数の増加とお客様の推奨度(NPS)の向上 成果：この取組を通して参加学生がファシリティマネジメント(*)の基本を実地に習得 *企業・団体が組織活動のために、施設とその環境を総合的に企画、管理、活用する経営活動		
該当するカテゴリ(すべてに○) *注1	【カテゴリ1】 プロモーション ○	【カテゴリ2】 アイデア創発 ◎	【その他】
実施期間	(令和6年10月~令和7年1月末までの期間で設定してください) 令和6年10月~令和7年1月中旬		
受入学生の希望(留学生の受入)	(どのような学生に向いているなどご記入ください) ・観光(インバウンド誘致を含む。)、マーケティング、行動経済学等に関心があり、現場主義で行動する学生 ・クルーズ船客はじめ、インバウンドの立寄りも多いので、留学生の視点からの提案も歓迎		
備考	・プロジェクトは、当機構職員との協働により行い、利用促進策の実施に必要なツール等の作成は、当機構が可能な範囲で支援する。		

『AOMORI 未来創造ラボ』
プロジェクトエントリーシート(企業・団体用)

企業・団体・自治体名	青い森鉄道株式会社	業種	旅客鉄道業
提案プロジェクト			
タイトル	青い森鉄道イメージキャラクター「モーリー」を活用したPR強化プロジェクト		
プロジェクトの概要	<p>当社は、東北新幹線開業により旧 JR 東北本線の青森県内区間（121.9 km）を青森県とともに「上下分離方式」で運営しているに第三セクターの鉄道会社です。</p> <p>通勤・通学の多くの方に地域の足としてご利用いただいているほか、貨物列車が1日約50本通る全国の物流の大動脈として重要な役割を果たしています。</p> <p>当社では2010年の全線開業を前にイメージキャラクターを募集し、投票で1番人気だった「モーリー」が誕生しました。</p> <p>現在は「モーリー」を当社車両にラッピング、各種グッズ製作・販売、沿線イベントに登場する等のPRに取り組んでいますが、もっと「モーリー」を活用して青い森鉄道や沿線の魅力を発信し、利用者を増やすことや地域活性化を図りたいと考えています。</p> <p>本プロジェクトでは、皆さんと一緒に「モーリー」を活用したPR強化に取り組んでいきたいと考えています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ラッピング車両（イメージ） 名称：モーリー</p>		
想定参画学生数	2～3名		
学生が行うこと (活動内容)	<p>青い森鉄道のこれまでの取組み、現状把握を踏まえて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モーリーのプロデューサーとしてSNS等による効果的なPR方法の立案、実行 ・観光客等がお土産として気軽に購入できるオリジナルグッズの開発 (有効な案は弊社で実施に向けた調整) ・11月9日(土)八戸市ラピアで開催の「青い森鉄道ふれあいフェア2024」運営サポート 		
目標・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・モーリーを活用した新しいターゲット層への魅力発信 ・広報PR活動のノウハウを習得 ・商品開発に向けたプロセスの習得 		
該当する カテゴリー (すべてに○) <small>*注1</small>	【カテゴリー1】 プロモーション	【カテゴリー2】 アイデア創発	【その他】
	○	○	
実施期間	令和6年10月～12月頃		
受入学生の希望 (留学生の受入)	<ul style="list-style-type: none"> ・当社や鉄道業界、公共交通機関に興味がある方にぜひ参加いただきたいと考えています。 ・当社に興味のある方であれば留学生の受入も可能です。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間、場所等については学生の皆さんと相談しながら決めたいと考えています。 		

『AOMORI 未来創造ラボ』
プロジェクトエントリーシート(企業・団体用)

企業・団体・自治体名	株式会社協同	業種	広告業
提案プロジェクト			
タイトル	(30 字以内でご記入下さい) GW イベント「AOMORI 春フェスティバル」で実施する企画を考えよう！		
プロジェクトの概要	(400 字程度でご記入下さい) 毎年、青森市中心市街地の賑わいづくりのため、ゴールデンウィークに開催している「AOMORI 春フェスティバル」は、ねぶたとよさこいのコラボレーションをテーマに、2006 年からこれまで 27 回実施してきた。 毎年県内外から多くの方に来場いただいているが、より多くの来場者（特に若い方々）に来てもらうためには、どんなイベント企画・コンテンツがあればよいのか、イベントを知らない人にどのように知ってもらうのか、イベントを継続していくためにはどんなことが必要かなど、青森市内の学生の皆様のお力をお借りし、一緒に考え、企画を考案する。		
想定参画学生数	3～4 名		
学生が行うこと (活動内容)	・ AOMORI 春フェスティバルで実施できそうな企画の考案・企画案の作成 (参加人数にもよりますが、グループワーク、または個人でアイデア等を出し合い、実現に向けてどんなことができるか、どのような実施方法があるかを検討、検証し、企画案を作成し発表を行う)		
目標・成果	来年度開催予定の「AOMORI 春フェスティバル」で企画を実施 (または今後の開催に向けてのアイデアとして提案)		
該当する カテゴリ (すべてに○) <small>*注1</small>	【カテゴリ1】 プロモーション	【カテゴリ2】 アイデア創発	【その他】
		○	
実施期間	(令和6年10月～令和7年1月末までの期間で設定してください) 令和6年10月～令和6年12月		
受入学生の希望 (留学生の受入)	・まちづくりに興味・関心のある方 ・イベントの企画・運営をしてみたい方		
備考			

『AOMORI 未来創造ラボ』
プロジェクトエントリーシート(企業・団体用)

企業・団体・自治体名	青森商工会議所	業種	経済団体
提案プロジェクト			
タイトル	(30 字以内でご記入下さい) 『学生と経済界の本音トーク』企画・運営		
プロジェクトの概要	(400 字程度でご記入下さい) 青森県では、県外就職による若者の県外流出が課題となっています。青森商工会議所では、課題解決に向けて、令和 5 年度に市内大学生・短大生と商工会議所正副会頭が一同に会し、『学生と経済界の本音トーク』イベントを開催し、県内就職・定着について本音で語り合いました。 令和 6 年度は、より学生目線でのイベント開催を目指し、当プロジェクト参加学生と青森商工会議所が協働して企画立案を行い、ともに県内就職・定着について解決方法を模索します。 プロジェクト参加学生にとっては、イベントのゲストにお迎えする年齢の近い若手社員の体験談や、普段関わることのない経済界のお話を聞くことで、将来の進路やキャリア選択に対する洞察を深めることができます。また、青森商工会議所のイベント企画・運営に携わることで、青森商工会議所の業務や取組について理解を深めること、実務スキルを向上させることができます。		
想定参画学生数	2～3 名		
学生が行うこと (活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・トークイベントの企画・運営 ・ゲストの選定（県内外に就職した若手社員、地元企業の総務・人事部長など） ・ゲストへのインタビュー内容の検討、事前調査 ・参加学生の集客活動（チラシ等掲示物の制作・掲示可能かの交渉）。 ・参加学生と青森商工会議所とのパイプ役 ※全て青森商工会議所職員と協働で行います。 		
目標・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・トークイベント開催。 ・「青森就職・定着」の魅力発見。 		
該当する カテゴリー (すべてに○) *注1	【カテゴリー1】 プロモーション	【カテゴリー2】 アイデア創発	【その他】
		○	○
実施期間	(令和 6 年 1 0 月～令和 7 年 1 月末までの期間で設定してください) 令和 6 年 1 0 月上旬 キックオフミーティング、自己紹介、概要・日時決定 令和 6 年 1 0 月中旬 イベント詳細決定、各大学へ参加者募集周知依頼 令和 6 年 1 1 月 イベント周知、参加者募集、若手社員の選定、出席依頼 令和 6 年 1 2 月上旬 イベント開催 令和 7 年 2 月 成果発表会		
受入学生の希望 (留学生の受入)	(どのような学生に向いているなどご記入ください) <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職に興味がある方。 ・自分や若い世代のライフプラン設計に興味がある方 ・イベント企画から運営まで一連の流れを体験したい方。 ・いろいろな大学・学部で学生同士で交流したい方。 		
備考	所属学部・学科、年齢、性別、国籍は問いません。		